

平成24年度岩手県支部総会



その後、衣川の千葉寿夫さんを議長に議事が進行されました。平成23年度事業報告、収支決算、平成24年度の事業計画、収支予算案が滞りなく承認されました。今回の総会は役員の改選期に当たっており、副会長の山本行男さんから勇退したい旨のお

総会は、佐藤安美会長の挨拶に始まり、岩手県スキー連盟の菊池隆教育本部長よりご挨拶を頂きました。本部長からは、今回の改選期で本部長職を退任、後任に松ノ木敏雄氏が当たる旨の説明があり、これまでの在職期間中の協力に對しお礼の言葉が述べられました。続いて地元スキー協会を代表して、一関市スキー協会の田中和彦副会長から歓迎のご挨拶を頂きました。

来年の総会は、県中央の盛岡市を中心に、矢巾町の「ドクターヘリ」を見学に入れ、開催予定ですので、多くの参

話があったことから後任に、江刺の及川力さんが着任。また、新しい理事に、盛岡玉山区スキー協会所属で安比高原のパトールでもある、竹田直彦さんの着任が承認されました。(役員別掲)

総会終了後は、当協議会でもあり、日赤救急法指導員でもある千葉寿夫さんから、情報提供ということで、日赤救急法の改正点についてお話を頂きました。数年前から心肺蘇生の方法や用語に大きな変更があった事などを紹介されると、講習会(日赤)に数年参加していない会員からは驚きの声が上がっていました。

その後、温泉で汗を流した後、恒例の懇親会が行われました。この日は、岩手県支部総会に先立ち、日本スキーパトール協議会の東北ブロック会議も開催されていたことから、懇親会には一戸繁輝会長以下、東北各県の代表者5名にも参加していただき、他県と情報交換しながら盛大に行われました。

平成24年6月2日(土)、日本スキーパトール協議会岩手県支部平成24年度総会が、一関市厳美溪温泉「溪泉閣」において、県内の会員20名、来賓2名の参加で開催されました。

来年は県中央で開催

県支部総会

PATO 岩手

協議会

No50号

事務局

〒029-4503

金ヶ崎町西根真析

152

日本スキーパトール協議会
岩手県支部

http://www.geocities.jp/patokyoku_iwate/

全国総会 福井県あわら温泉で開催 情報交換と観光で交流を



JSPAの第41回総会が、9月8日福井県あわら市「北潟湖畔荘」で開催されました。

岩手県支部から5名の会員と2名の同伴者で参加しました。今回はマイカー参加の沢口忠夫さんを除き、全員がJRの企画商品「大人の休日」

キップで参加。大変安価で参加する事が出来ました。

北上駅(6時48分)発から佐藤安美と浅田康晴さん・高橋秀幸さんと友人、水沢江刺駅からは及川力さん夫婦が参加。大宮・越後湯沢・富山の各駅で乗り換え、芦原温泉駅(14時23分)着。駅には宿の車で前日到着の青森県の仲間が出迎え、総会会場へ。15時からの総会には悠々間に会いました。

総会では、提案された全ての議案が、満場の拍手で承認されました。

総会終了後は、白山で山岳ガイドをしている福井県公パト乾靖氏による「秀峰白山の自然」について講演を頂きました。

懇親会では、最初に地元の

加をお願いします。

翌日は、佐藤安美会長と数人で、平成21年6月14日に起きた「岩手・宮城内陸地震」で被害にあった「祭時大橋」を見学し、昨年3月11日の東日本大震災を思い、自然の力は凄いのと思い帰路に着きました。

役員名簿

名誉顧問	県連本部長
顧問	箱石勝見
顧問	千葉純司
会長	佐藤安美
副会長	佐藤 朗
副会長	及川 力
理事長	青名畑幸彦
副理事長	菅原 健
理事	沢口忠夫
理事	斎藤 孝
理事	竹田直彦
理事	遠藤 正
監事	高橋秀幸
監事	西館 忍

「和太鼓集団」による力強い演奏が披露されました。いよいよ第1期生の長野県山本一雄氏をはじめ総勢百二十名の大宴会が会場狭しと、繰り広げられパトール仲間の「絆」を確かめました。

翌朝、朝食前に沢口さんの車で岩手県参加者だけで名勝「東尋坊」観光に出かけ、三陸海岸とは一味違った海岸絶壁を楽しみました。宿に戻り、朝食後は総会参加者の希望者による、「永平寺と恐竜会館」観光にマイクロバス2台で出発。午前の永平寺では座禅体験をし、日頃の邪念をいくらかでも払えたかなと思いつながら、永平寺内を案内され、心の落ち着きを感じました。門前での昼食後、その後の観光に参加する沢口さんと高橋さんと別れ、福井・金沢・越後湯沢と各駅を乗り換え、大宮駅で東京に向かう浅田さんと別れ、東北新幹線と及川力夫婦と一緒に無事に帰ってきました。

今回の総会記念品には、福井県8期加茂勝康氏作成による「包丁」を頂き、30年は持つと言いたいと思えます。

来年の総会は、平成25年8月31日に鳥取県米子市「皆生温泉」で開催されます。早期割引等で割安の交通費で、早くから予定を組み、鳥取県・島根県の観光を兼ねながら参加しましょう。

【報告者 佐藤安美】